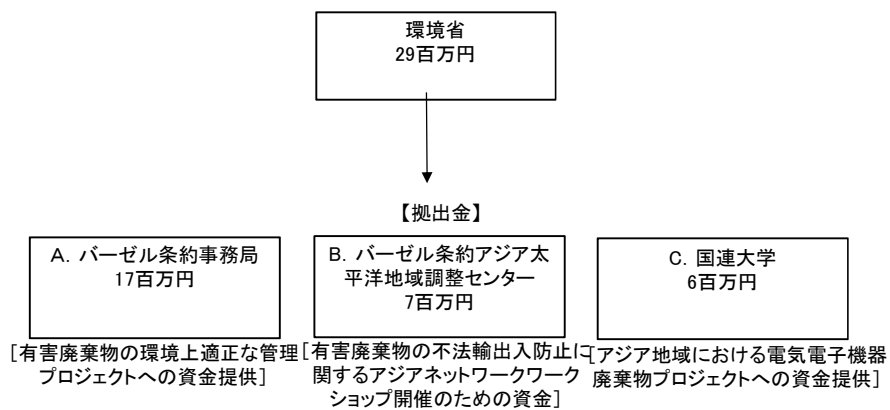


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	コンピュータ機器廃棄物適正管理事業等拠出金	担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度	担当課室	適正処理・不法投棄対策室	適正処理・不法投棄対策室長 是澤裕二				
会計区分	一般会計	政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-5 廃棄物の不法投棄の防止等					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	バーゼル条約 締約国会議					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、電気電子機器廃棄物(E-waste)等の有害廃棄物の環境上不適正な管理や不法越境移動による環境被害・健康影響を防ぐために、途上国における有害廃棄物等の環境上適正な管理のためのプロジェクト支援、有害廃棄物等の環境上適正な管理に関する国際的なフレームワーク策定、特にアジア各国における情報共有や不法輸出入防止活動の促進を通じて、法制度の整備や適正な管理体制の実施を目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	コンピュータ機器廃棄物適正管理事業や関連する電気電子機器廃棄物プロジェクトにおいては、各プロジェクトグループで作成中の使用済みコンピュータ機器の修理・改修等のガイドラインの策定作業やアジアの国におけるパイロットプロジェクトを行った。また、バーゼル条約第10回締約国会議の決議に基づき、我が国はリード国として、有害廃棄物等の環境上適正な管理に関するフレームワークを策定した。さらに、これまで我が国が主体となって行ってきた、アジア各国における規制情報の共有や効果的にバーゼル条約を施行するための有害廃棄物等の不法輸出入防止に関するアジアネットワーク事業を実施した。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	34	32	29	30	30	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	34	32	29	30	30	
	執行額	34	32	29				
	執行率 (%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本拠出金は、電気電子機器廃棄物(E-waste)有害廃棄物等の環境上適正な管理の強化や、アジア地域における廃棄物政策担当者等の能力向上等を成果目標としているため、数値化することは困難である。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	プロジェクト数		活動実績 (当初見込み)	数	4	4	4	—
					4	4	4	()
単位当たりコスト	5万ドル/プロジェクト		算出根拠	予算額/プロジェクト数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構等拠出金	30	30					
	計	30	30					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国の国益に結びつく決議に基づく活動に対して、拠出金を活用し新たな取組を行う。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		—		
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	バーゼル条約事務局等に使途を確認した。	
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	各プロジェクトグループで作成している使用済みコンピュータ機器の修理・改修等のガイドラインの最終化の支援等が確実に実行されており、今後とも不可欠な事業であると考え。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>バーゼル条約締約国会議や途上国の締約国のニーズに基づき、コンピュータ機器廃棄物や電気電子機器廃棄物の環境上適正な管理に関する技術的・資金的な支援を行うだけでなく、我が国の国益に結びつく決議に基づく活動に対して、拠出金を活用し新たな取組を行うことは重要であるため、これらの活動に対し資金的・技術的な支援を重点的に行うことで成果を効果的に出すことができる。また、これらの活動と、我が国と密接な関係にあるアジア地域における、有害廃棄物等の不法輸出入防止に関するアジアネットワーク事業を組み合わせることで実施することにより、我が国とアジア関係諸国が緊密に連携して、有害廃棄物等の不法越境移動に対する水際対策を強化することができる。</p>				
	<p style="text-align: center;">外部有識者の所見</p> <p style="text-align: center;">点検対象外</p>				
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること。				
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努める。				
	備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	114	平成23年	108	平成24年	108

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.バーゼル条約事務局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	バーゼル条約技術協力信託基金における 日本政府が合意したプロジェクトへの資金	10			
拠出金	水銀とその他金属に関する活動をサポート する一般信託基金	7			
計		17	計		0
B.バーゼル条約アジア太平洋地域調整センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	有害廃棄物の不法輸出入防止に関するア ジアネットワークワークショップ開催のため	7			
計		7	計		0
C.国連大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	アジア地域における電気電子機器廃棄物プ ロジェクトへの資金提供	6			
計		6	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	バーゼル条約事務局	バーゼル条約技術協力信託基金における日本政府が合意したプロジェクトへの資金提供	10		
2	バーゼル条約事務局	水銀とその他金属に関する活動をサポートする一般信託基金	7		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	バーゼル条約アジア太平洋地域調整センター	有害廃棄物の不法輸出入防止に関するアジアネットワークワークショップ開催のための資金	7		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連大学	アジア地域における電気電子機器廃棄物プロジェクトへの資金提供	6		